

畠シェアリング ～八王子×若者×農業をつなぐベジタブル～

創価大学経営学部経営学科 天谷ゼミナール
小澤直美, 七里 花, 三橋諒大, ジョヒョンジ
青木満里奈, 永井真央, 清本翔太
指導教員 天谷 永

1. 提案

私たちは八王子市の農家（高齢者）と若者（大学生）に注目しました。その中で、農家が畠の一部を開放し、若者がそこで野菜を育てるという「畠シェアリング」プロジェクトを提案します。このプロジェクトを行うことで、八王子市の課題である地域のつながりと若者流出、日本全体の課題である農家人口の高齢化・減少の二つの課題解決を図ります。

2. 背景

私たちはまず、八王子市の活性化のためにいくつか八王子市の課題を挙げ、その中で地域のつながりと若者流出に着目しました。八王子市の基本構想・基本計画「八王子ビジョン 2022」により生じる、地域の人々のつながりをどのように拡大すればよいのか、そして、それに大きく影響するのが若者の流出です。転入者の割合で最も多いのは 15-19 歳の 12.3%、転出者の割合で最も多いのは 20-24 歳の 25.1%です。転入者よりも転出者が多いことにより、八王子市の特徴として学園都市である（若者が多い）ことが分かります。

また、八王子市の特徴として東京都 26 市の中で最も大きい 186.31km²の面積があります。緑も豊かで、それに伴い八王子市の農家数は 392 戸（2015 年農林業サンセス）と東京都内で最も多いです。この特徴を通して、日本全体の課題である農家人口の高齢化・減少に着目しました。現在（平成 29 年）の農家人口は約 181 万人であり、そのうち約 120 万人が 65 歳以上です。また、平成 22 年と現在を比べて約 80 万人減少しています。（農林水産省）八王子市も農家人口が多い分、八王子市にとっても大きな課題である

ことが分かります。

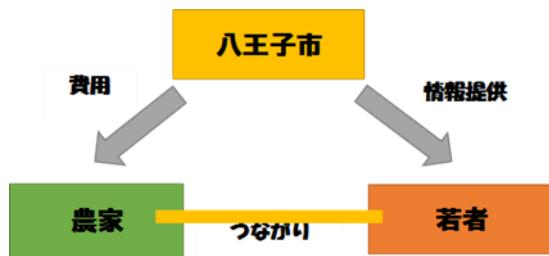
私たちはこの八王子市の二つの課題を、二つの特徴を活かして、八王子市にいる「農家×若者」に注目した「畠シェアリング」プロジェクトを提案することに至りました。

3. 「畠シェアリング」とは

現在、国内外でシェアリングエコノミーが注目を集めています。シェアリングエコノミーとは、個人が保有している資産の貸出を行うものです。この普及の背景には、スマートフォンやタブレット端末の発展が大きく関わっており、スマフォ普及率の割合を多く占めている 10-20 代を中心に、このシェアリングエコノミーが活用されています。そこで私たちは、八王子市の課題である若者流出の解決のため、若者に興味を持ってもらえるこのシェアリングエコノミーを活用したのが、「畠シェアリング」です。

まずこの畠シェアリングは、八王子市が農家と若者の仲介となってプロジェクトを行っていきます。その上で、以下の手順でプロジェクトを実施します。

- ① 八王子市が一部の畠を若者にシェアできるように、農家に畠の開放費用を負担します。
- ② 八王子市が若者に対して、シェアが可能となった農家・畠の情報提供を行います。
- ③ 八王子市から紹介を受けた若者と農家をつなぎ、若者はシェアが可能となった畠で野菜を作ります。
- ④ できた野菜は、道の駅や八王子産の野菜を取り扱っている店舗で販売します。
- ⑤ それで得た利益のうち数割を、八王子市に寄付します。
- ⑥ (図)



上記で述べたように、私たちはこのプロジェクトを実施する上で八王子市の仲介が必要であると考えています。理由としては、農家と若者を直接つなげる形にした場合、農家と若者とのつながりを築くのは困難であると考えます。八王子市が仲介することで農家と若者への信用性を高め、両者ともに安心してこのプロジェクトに参加できます。これにより、農家と若者のつながりもしやすくなると考えます。

このプロジェクトは八王子市が農家に開放費用を払い、若者に無償で畠をシェアします。売り上げ利益も不安定なものであるため、八王子市の負担が大きいのが課題です。しかし、下記の図より農業共同組合や農業委員会、市民と農業者が協力し合うことで八王子市の負担を軽減できると考えています。

| | 農業者 | 農業協同組合 | 市民 | 農業委員会 | 八王子市 |
|--------------------|-----|--------|----|-------|------|
| 若手農業者や新規就農者への支援の検討 | ◎ | ◎ | △ | ◎ | ◎ |
| 新たな担い手の育成 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ |
| 遊休農地の利用促進 | ◎ | ○ | △ | ◎ | ◎ |
| 新鮮で安心安全な農産物の供給 | ◎ | ◎ | ◎ | △ | ◎ |
| 市民の農への参加の促進 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ |

※◎…中心的な推進主体

○…支援・協力及び助言を主体

△…支援・協力及び助言を行う

(八王子市公式 HP 八王子市農業振興計画より作成)

4. まとめ

以上により、私たちは農家が畠の一部を開放し、若者がそこで野菜を育てるという「畠シェアリング」プロジェクトを提案します。まずは若者に農業への興味を持たせ、農家人口増加・若者定住につなげていき、そして農業のレクチャーなどを通して農家と若者（地域）のつながりを築くことで、1. 提案で述べた二つの課題を解決し、八王子の活性化・農業の活性化につなげていきます。

参考文献

- ・農林水産省
<http://www.maff.go.jp/>
- ・2015年農林業センサス
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/2015/top.html>
- ・八王子市 HP 第3次八王子市農業振興計画
 第1章 八王子市全体の現状と課題
http://www.city.hachioji.tokyo.jp/tantoumadoguchi/001/.../jinkoukouzou_05chapter1.pdf
 第4章 農業振興計画の基本計画
http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/sangyo/004/001/007/p014367_d/fil/keikaku-dai4.pdf